

図書館だより

令和 4年 3月17日号

図書館こぼれ話

新たなレイアウトでスタートした今年度の図書館だよりはいかがでしたでしょうか。4月からはさらに改良を加え、思わず読みたくなるような図書館だよりを目指して頑張ります。



明日は修了式。3学期はオンライン授業の時間が増え、登校する回数が減ってしまいましたが、4月からはまた全学年が元気に揃って、充実した学校生活を送っていきたいですね。図書館もまたたくさん利用してください。さて、先月「埼玉県の高校図書館司書が選んだイチオシ本2021」が発表されました。この企画には秋草の司書ふたりも投票を行っており、結果を楽しみに待っています。私たちの選んだ本は残念ながら1位ではありませんでしたが、「読んでみたい」と心惹かれる本がたくさんランクインしていました。

●埼玉県の高校図書館司書が選んだイチオシ本 2021 第1位に輝いたのは！

イチオシ本2021 ランキング

1位 『100万回死んだねこ 覚え違いタイトル集』

福井県立図書館 || 著・編

2位 『スマホ脳』 アンデシュ・ハンセン || 著

3位 『女の子はどう生きるか』 上野千鶴子 || 著

4位 『お探し物は図書室まで』 青山美智子 || 著

5位 『マンガでわかる LGBTQ+』 パレットーク ||

著 ケイカ || 著・イラスト

5位 『プラザーズ・プラジャー』 佐原 ひかり || 著

5位以下については館内で紹介・展示しています！

015-7 『100万回死んだねこ 覚え違いタイトル集』 福井県立図書館 || 著・編 講談社

『100万回死んだねこ』、『背中を蹴飛ばしたい』、『私、残業しません』、覚え違いの書名で図書館へ本を探しにきても大丈夫。図書館のプロが見事な推理力でお目当ての本を探し出してくれます。クスッと笑える利用者さんの覚え違いにほっこりしながら、みなさんも正解を当ててみてください。

●春休みにおすすめしたい“出会い”の本

913.6-コ 『スーツケースの半分は』

近藤 史恵 || 著 祥伝社

綺麗な青色をした革張りのスーツケースが何人もの主人公の手に渡り、物語を繋いでいきます。ニューヨークへの旅を夢見る人の背中を押したり、自分の旅に胸を張れない人に香港で素敵な出会いをもたらしたりと、青いスーツケースは旅する人に自分を変える機会を運んでくれます。このスーツケースとどんな国へ行きたいか想像しながら読むのも楽しいです。

929.1-イ 『世界を超えて私はあなたに会いに行く』 イ・コンニム || 著 KADOKAWA
2016年、ウニユが1年後の自分へ送った手紙。しかし、信じられないことにその手紙は1982年を生きる別のウニユへ届く。時空を超えて出会った二人のウニユ。二人はお互いの存在を疑いながらも悩みを語り合い、姉妹のように打ち解けていく。そして、それぞれの願いを叶えるために力を合わせ動き出す。未来はどう変わるのか！

●司書の『今月はこの本を読みました』

『恋のライバルは草でした(マジ)。』という紹介文に興味を引かれて三浦しをんさんの『愛なき世界』(913.6-ミ 中央公論新社)を読みました。洋食屋『円福亭』で見習いとして働く藤丸くんは出前を届けにいった大学のキャンパスで恋に落ちます。お相手はシロイヌナズナの研究に没頭する大学院生の本村さん。しかし、悲しいかな彼は研究にすべてを捧げる本村さんにあっさり振られます。ですが、好きな人がそこまでのめりこむ植物の世界をもっと知りたいと藤森くんは研究の様子を覗かせてもらうことに。知れば知るほど謎の多い世界。でも、知れば知るほど本村さんが好きになる。愛をたくさん感じた『愛なき世界』でした。 【今井】

●気になる新着本

B913.6-ハ 『三千円の使いかた』 原田 ひ香 || 著 中央公論新社

お金は生きていく上で大切な問題。みなさんもおこづかいを上手にやりくりして欲しいものを買ったり、友だちと出かけたりしていると思います。この物語の主人公たちのような気持ちになるのはもっと先のことですが、きっと誰もが悩むであろうお金のあるあるを将来の予習として覗き見できます。

B914.6 『おやつが好き』 坂木 司 || 著 文藝春秋

「おやつの時間が好き」、「おいしいものが出てくる本が好き」という人におすすめ。作家の坂木司さんのおやつ愛が詰め込まれたエッセイ集です。自分もお気に入りのおやつが紹介されていて嬉しくなったり、気になるおいしそうなおやつを発見して買いに行きたくなったり、ページをめくる度に楽しい気持ちになれます。